

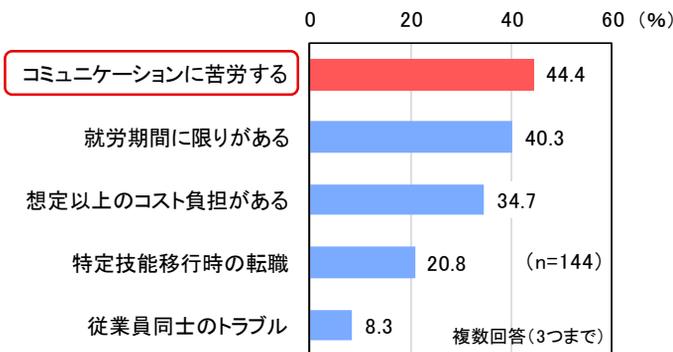
外国人雇用と日本語学習支援

仕事面の一番の課題は「コミュニケーション」

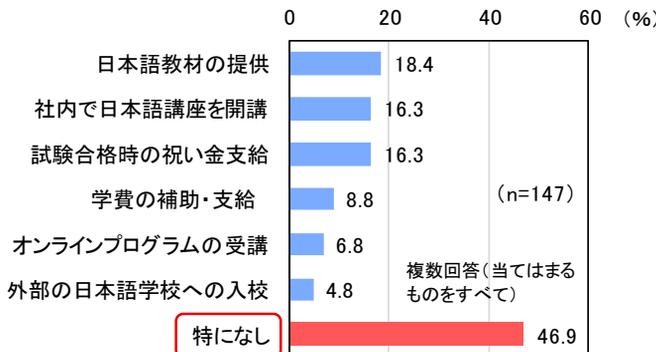
ひろぎんHD経済産業調査部が今年5月、広島県内企業1,500社（有効回答数458社）を対象に行ったアンケート調査（速報値）において、外国人材を雇用している企業に対して「外国人雇用に関する仕事面の課題」を尋ねたところ、「コミュニケーションに苦勞する」を挙げる企業が44.4%で最も多くなりました（**図表1**）。

しかし、日本語能力の向上に、「特に取り組んでいない」とする企業は46.9%と同程度以上を占めており、日本語能力の習得に向けたサポート体制が十分にできていない状況です（**図表2**）。

図表1 外国人雇用に関する仕事面の課題



図表2 日本語能力向上に向けた具体的取り組み



(注) 図表1・2ともに技能実習生または特定技能外国人を雇用中の企業
(資料) ひろぎんHD経済産業調査部「外国人の雇用に関するアンケート（速報値）」（2025年5月実施）

育成・定着に向けた環境整備が必要

2027年に創設される「育成就労制度」では、受入企業による日本語教育が求められる予定です。

こうした状況下、広島県は県内企業を対象に、今年度より「日本語学習支援」事業を開始しています。具体的には、働く外国人材に「日本語学習eラーニング」を提供するほか、受入企業向けのコーチング支援を行うもので、県内企業の育成就労制度への円滑な移行を推進しています（**図表3**）。

人手不足の一段の深刻化が懸念される中で、長期に亘り地域の産業や企業を支える外国人材の育成と定着は極めて重要です。企業と行政、地域が連携・協力してコミュニケーションのベースとなる日本語能力の向上を支援し、仕事と生活両面における良好な人間関係づくりを後押ししていくことが求められます。

図表3 広島県の「日本語学習支援」事業の内容

日本語学習eラーニング	企業へのコーチング支援
日本語能力試験対策講座／模擬試験 ・入門からN1（※）まで、幅広いレベルに対応（母国語の字幕付） 日本語コミュニケーション講座 ・職場で必要な日本語や基本的なマナーを学習	日本語学習に関するアドバイス ・専門家等が指導計画の作成、eラーニングの活用方法、教育制度の設計支援、育成フローの構築支援等をアドバイス 勉強会／情報交流会 ・企業担当者同士が学習支援の工夫や課題を共有できる場を提供

（※）N1：幅広い場面で使われる日本語を理解することができる最難度レベル
(資料) 広島県資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

広島県が最新情報を提供する
メール配信のお申込みはこちら



- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：松本（TEL082-247-4958）までお願いします。